

(日刊建設工業新聞社 掲載許諾済み)

愛知と兵庫で舗装 現場安全対策確認

佐藤渡辺の石井社長

佐藤渡辺の石井直孝社長は10月27、28日の2日間、愛知県と兵庫県で施工している2カ所の舗装工事現場を安全パトロールし、工事の進捗(しんちよく)状況や安全対策を確認した。

27日に視察した現場は国土交通省中部地方整備局発注の「令和4年度三遠道路3号トンネル新城地区舗装工事」(愛知県新城市)。片側1車線のコンクリート舗装が完了し、今後残る半分の打設を本格化する。

28日は兵庫県西宮市で施工中の「名塩道路城山トン

ネル舗装工事」(発注・国交省近畿地方整備局)の現場を訪れた。コンクリート舗装の打設に先立ち鉄筋組み立てが行われており、手順書通りに作業が進んでいることを確認した。

石井社長は視察した2カ所の現場で「皆で定めた現場のルールを順守し、事故を起こさない、起こさせない」という強い気持ちで無事故・無災害を達成してほしい」と呼び掛けた。



現場を視察する石井社長(左)
(新城市の舗装現場で、佐藤渡辺提供)

